

令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	発展現代文	単位数	1	履修学年	3	学科・コース	普通科・文系クラス																																
教科書	「現代文B」(教育出版)			副教材等				担当者	館																																
1. 科目の目標			2. 学習の進め方や留意点			3. 評価の観点と函中コンピテンシー																																			
<p>(1) 論理的な文章において、筆者の主張を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約したりする力を身につける。また、文章構成を確かめたり、表現の特徴を捉えたりする力を身につける。</p> <p>(2) 文学的な文章において、人物像・情景・心情などを表現に即して読み味わう力を身につける。</p> <p>(3) 近代以降の様々な文章を読み、言語感覚を磨くとともに、言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を養う。</p> <p>(4) 話題について様々な角度から検討して自分の考えを持ち、目的や場に応じて的確に相手の意見を聞き取ったりしながら、効果的に話したり、意見を述べる力を身につける。</p>			<p>(1) 普段は教科書、ノートを使い、単元ごとに小テストや記述問題等を出題します。</p> <p>(2) 評価・評定 5段階で評価します。 ・1・2年生・・・前期末考査後に「評価」学年末に1年間の「評定」がつきます。 ・3年生・・・定期考査後に「仮評定」、学年末に1年間の「評定」がつきます。 *評定が1の場合、単位の修得は認められません。 *観点別評価はA、B、Cの3段階で評価します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>評価・評定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特に高い程度に達成</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>高い程度に達成</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>おおむね達成</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>やや不十分</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>不十分</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			達成度	評価・評定	特に高い程度に達成	5	高い程度に達成	4	おおむね達成	3	やや不十分	2	不十分	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>知識・技能</th> <th>思考・判断・表現</th> <th>主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>傾聴力</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>先見力</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	傾聴力	○		○	思考力	○	○		協働力		○	○	先見力		○	
達成度	評価・評定																																								
特に高い程度に達成	5																																								
高い程度に達成	4																																								
おおむね達成	3																																								
やや不十分	2																																								
不十分	1																																								
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																																						
傾聴力	○		○																																						
思考力	○	○																																							
協働力		○	○																																						
先見力		○																																							

4. 学習計画と評価規準

月	単元・学習内容	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	【小説1】レーダーホーゼン	4	・意識の変化と情景描写を捉えることができる。	・自らの体験と関連付けながら、本文を読むことができる。	・家族のあり方について、自分の意見を主張でき、相手の意見にも耳を傾けようとしている。
5	【小説2】俘虜記	4	・比喩の表しているものや登場人物の視点を理解して物語を捉えることができる。 ・主人公の自己分析や心情を正確に捉えることができる。	・主人公の心情を緻密に分析でき、戦争における殺人の意味を考えることができる。	・戦争という題材について情報を収集し、考えを深めようとしている。
	前期中間考査	【8】	【評価方法】定期テスト、小テスト	【評価方法】定期テスト・小テスト	【評価方法】観察・提出物
6	【評論1】幽玄の神秘主義	4	・取り上げられている4つの和歌について、正しく解釈する知識を持つことができる。	・「幽玄」の神秘主義について、作者の主張を理解できる。	・古今和歌集の世界に関心を持ち、積極的に鑑賞する態度を養おうとしている。
7	【評論2】陰翳礼賛	3	・筆者特有の表現や修辭を読み取ることができる。	・筆者の説く伝統的な美意識を理解するとともに、闇や陰翳の働きを理解できる。	・陰翳の働きの理解に基づき、日本の美を再認識しようとしている。
8	前期末考査	【7】	【評価方法】定期テスト、小テスト	【評価方法】定期テスト・小テスト	【評価方法】観察・提出物
9	【評論3】日本文化私観	4	・文学史上の作者の位置づけができ、作者の主張を理解できる下地を持つことができる。	・必要が美を生み出すという考え方を読み取ることができる。	・様々な作家の文章に触れ、新たな視点を発見する面白さを知ろうとしている。
10	【評論4】平家物語	4	・「平家物語」の基礎知識を持っていて、作者の引用部分を理解できる。	・「平家物語」の描写の特徴と作者の批評文の文体の特徴を理解できる。	・「平家物語」に親しみ、当時の社会状況を把握して興味を高めようとしている。
11	後期中間考査	【8】	【評価方法】定期テスト・小テスト	【評価方法】定期テスト・小テスト	【評価方法】観察・提出物
12	【演習】共通テスト対策	4	・漢字や語句の正確な知識を持つことできる。	・論理的な文章の構成を把握して要旨を理解できる。 ・文学的な文章について、場面の状況や登場人	・共通テストに向けて、自分の苦手分野を把握して、弱点を克服しようとしている。

			物の心情を把握できる。	
		【4】	【評価方法】 ・小テスト・演習問題	【評価方法】 ・小テスト・演習問題
				【評価方法】 ・観察・提出物・演習問題の取り組み状況
合計（1 h→6 5分）	27 h			